’12-5月改訂 **組立・施工説明書** **ガーデン倶楽部 リウッド** **デッキフェンス1・2型**

’13-11月 発行 1ページ YKK AP EXTERIOR

このたびは、YKK AP エクステリア商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

変更
- **正面側の施工方法を変更しました。**
- **ねじ穴隠し用の木栓を追加しました。**

- 本商品は、「リウッドデッキ 200」専用です。
- 本説明書はデッキフェンスの組立・施工要領について説明してあります。
  デッキの組立・施工については本体に同梱の組立・施工説明書をご参照ください。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

お願い
- 商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
- 商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。
- みだりに改造や変更をしないでください。
- この商品は、一般外構用です。RC・ALC・鉄骨工法で施工されたベランダ・廊下・屋上等には使用しないでください。
- 組立は、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。
  締め付け不良は事故の原因になります。
- フラワーポット等のハンギングをしないでください。
- 取扱説明書・使い方＆お手入れガイドブックを施主様にお渡しください。

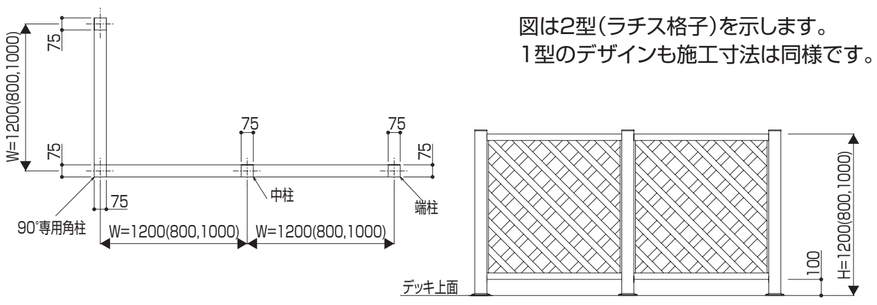
チェックシート

組立・施工時、本文中に表示している「**チェックマーク**」の確認をしてください。

	項　目	チェック欄
❶	デッキ材端部からの取付位置を守りましたか？	
❷	下笠木に水抜き穴加工がありますか？	

施工寸法図（単位：mm）

図は2型(ラチス格子)を示します。
1型のデザインも施工寸法は同様です。



同梱一覧 変更

■柱(中柱・端柱・90°専用角柱) **RNT-PM2#-##**

品　名	笠木取付金具	柱キャップ	ベースプレート補強板	中トラスタッピンねじ(φ4×12)	小トラスタッピンねじ1種(φ4×30)	座金組込六角ボルト(M5×48)	正面幕板固定金具	木栓	小トラスタッピンねじ(φ4×30)	座金組込六角ボルト(M6×50)	木栓	トラスドリルねじ(φ4×13)	皿タッピンねじ(φ4×12)	なべドリルねじ(φ4×30)	注意ラベル
品　番	**4K-10555**	**2K-34507**	**5K-13870**	**EM-4012D8**	**AM-4030**	**3K-11832**	**5K-16051**	**2K-37389**	**EM-4030**	**5K-13939**	**2K-37389**	**2K-13422**	**EF-4012D7**	**K-13525**	**2K-42631**
PM21-08(10) PM23-08(10)	8	1	2	24	2	4	—	—	—	—	—	2	—	—	—
PM22-08(10)	4	1	2	12	2	4	—	—	—	—	2	2	—	—	1
PM21-12 PM23-12	8	1	2	24	—	—	1	1	2	4	—	2	1	1	—
PM22-12	4	1	2	12	—	—	1	1	2	4	3	2	1	1	1
備　考			ベースプレート固定用	笠木取付金具取付用	柱キャップ取付用	ベースプレート固定用	正面幕板固定用		柱キャップ取付用	ベースプレート固定用	ねじ穴隠し用	ベースプレート補強板取付用	正面幕板固定金具固定用	正面幕板固定用	

■デッキ材補強材 **RNT-K4**

品　名	デッキ材補強材	補強材ブラケット	なべドリルねじ(φ4×13)	中トラスタッピンねじ(φ4×12)	フランジ付ナット(M4用)	柱固定用裏板	皿タッピンねじ(φ4×10)
品　番	—	**5K-14322**	**2K-18715**	**EM-4012D8**	**4K-13546**	**5K-14337**	**EF-4010D6**
個　数	1	2	4	6	6	1	2
備　考	L=544		補強材ブラケット取付用	補強材ブラケット取付用 デッキ材補強材取付用			柱固定用裏板取付用

■デッキフェンス柱補強材 **RNT-K5**

品　名	補強材	ベースプレート補強板ロング	大引き補強裏板	座金組込六角ボルト(M6×110)	中トラスタッピンねじ(φ4×12)	高ナット(M6用)	フランジ付ナット(M6用)
品　番	—	**5K-16271**	**5K-14783**	**5K-14782**	**EM-4012D8**	**5K-16976**	**3K-13553**
個　数	2	1	2	2	6	2	2
備　考	L=840	ベースプレート固定用			補強板取付用	ベースプレート固定用	

■本体分割用部品セット **RNT-K3**

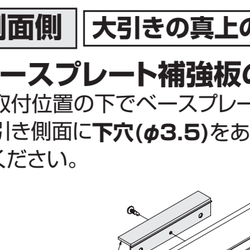
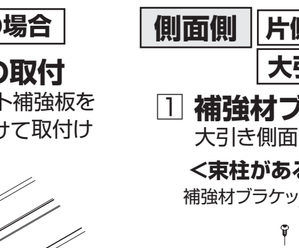
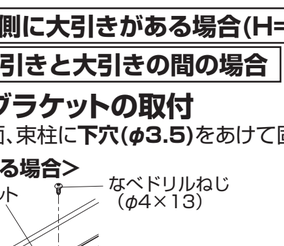
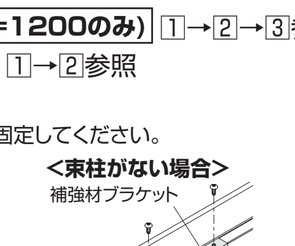
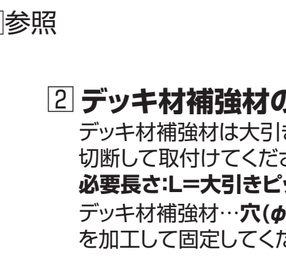
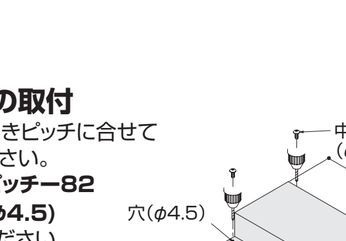
品　名	笠木取付金具	中トラスタッピンねじ(φ4×12)
品　番	**4K-10555**	**EM-4012D8**
個　数	8	24
備　考		

■ベースプレート化粧カバー(オプション) **RNT-K2**

品　名	ベースプレートカバー
品　番	**2K-34509**
個　数	2
備　考	

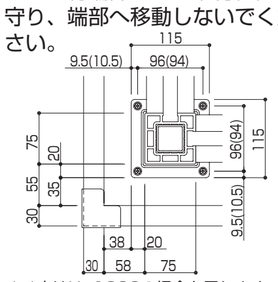
施工前の確認

柱の下地構造、固定用ボルト径などは、柱の種類、取付位置、フェンス高さにより異なります。
施工前に**「組合わせ例と下地構造」**(2P)を参照し、確認してから適切な方法で施工してください。

正面側		側面側			
片側に大引きがある場合(H=800、1000) 変更	片側に大引きがある場合(H=1200) 変更	大引きの真上の場合	片側に大引きがある場合(H=800、1000)	片側に大引きがある場合(H=1200)	大引きと大引きの間の場合
					
大引き ベースプレート補強板	ベースプレート補強板ロング 大引き 大引き補強裏板	ベースプレート補強板 大引き	ベースプレート補強板 大引き	デッキ材補強材 柱固定用裏板 大引き	補強材ブラケット 大引き デッキ材補強材

お願い

デッキ材端部からの取付位置を守り、端部へ移動しないでください。



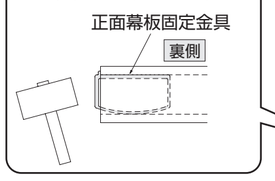
( )内はH=1200の場合を示します。

1. 幕板の連結＜正面側 H=1200 のみ＞

柱を固定するデッキ材に正面幕板固定金具を取付け、幕板とデッキ材を連結してください。

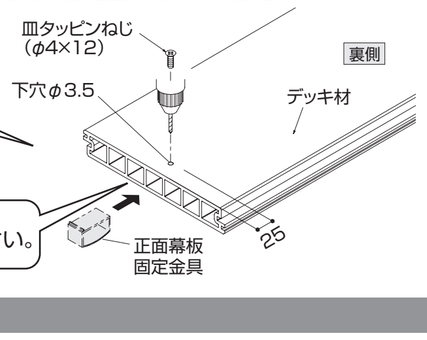
1 正面幕板固定金具の取付

❶正面幕板固定金具を木ハンマー等でたたいて入れてください。



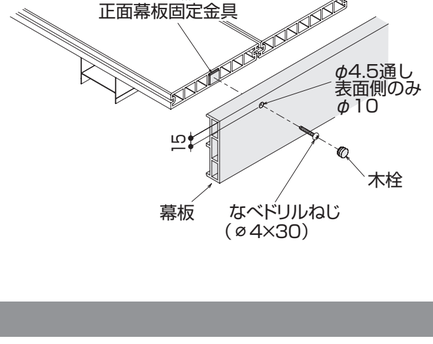
❷ケガキ冶具を使用してデッキ材の裏側から下穴(φ3.5)を加工してください。

❸正面幕板固定金具をねじで固定してください。



ポイント
真ん中の中空部に取付けてください。

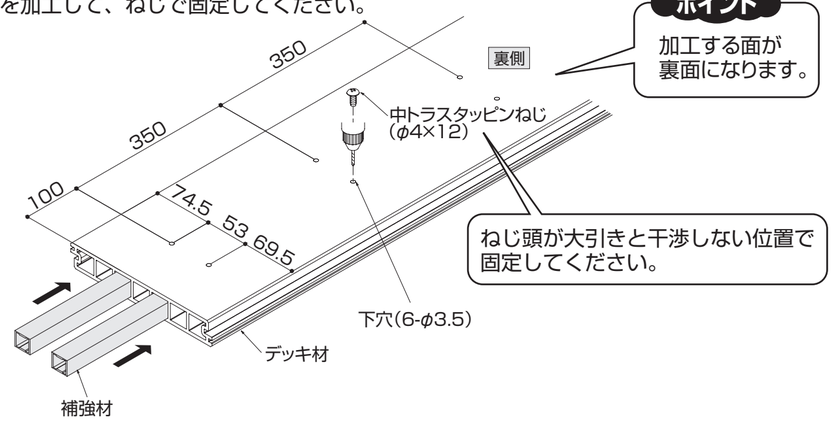
2 幕板とデッキ材を連結



2. 補強材の取付＜正面側 片側に大引きがある場合のみ(H=1200)＞ 変更

柱を固定するデッキ材に補強材(L=840)を入れ、デッキ材裏面に下穴(φ3.5)を加工して、ねじで固定してください。

ポイント
加工する面が裏面になります。

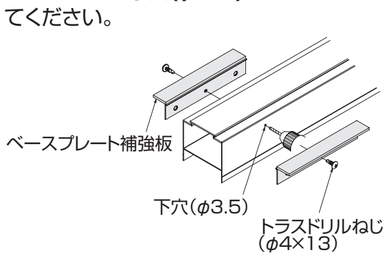


3. 下地構造の施工

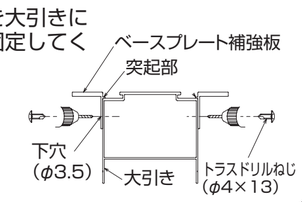
側面側 **大引きの真上の場合**

ベースプレート補強板の取付

柱取付位置の下でベースプレート補強板を大引き側面に**下穴(φ3.5)**をあけて取付けてください。



ポイント
突起部を大引きにのせて固定してください。

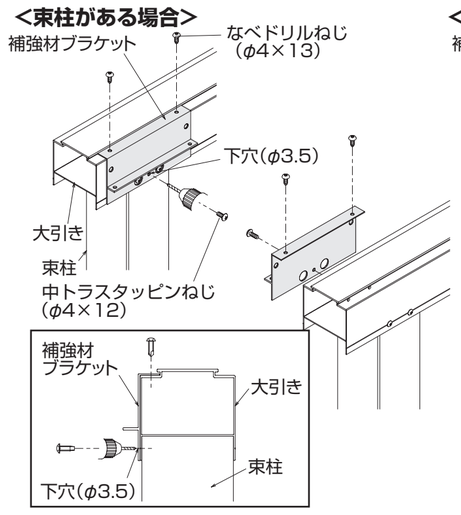


側面側 **片側に大引きがある場合(H=1200のみ)** 1→2→3参照
大引きと大引きの間の場合 1→2参照

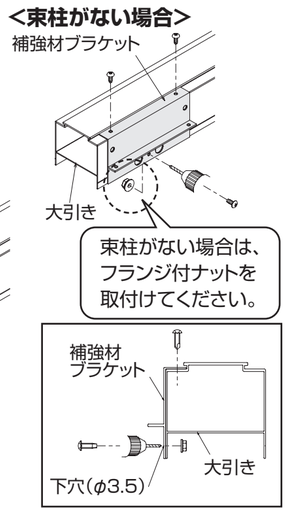
1 補強材ブラケットの取付

大引き側面、束柱に**下穴(φ3.5)**をあけて固定してください。

＜束柱がある場合＞

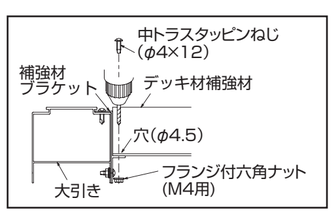


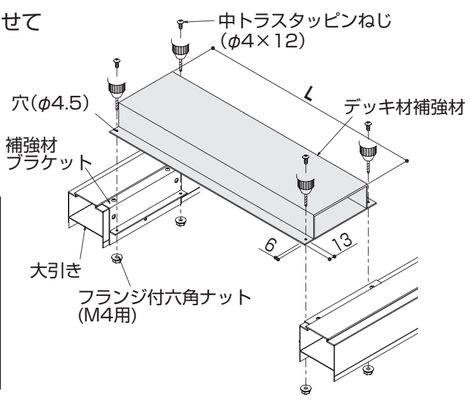
＜束柱がない場合＞



2 デッキ材補強材の取付

デッキ材補強材は大引きピッチに合せて切断して取付けてください。
必要長さ:L=大引きピッチ−82
デッキ材補強材…**穴(φ4.5)**
を加工して固定してください。

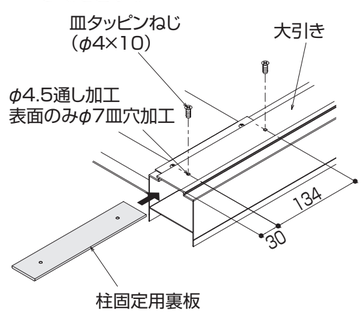




3 柱固定用裏板の取付

片側に大引きがある場合(H=1200のみ)

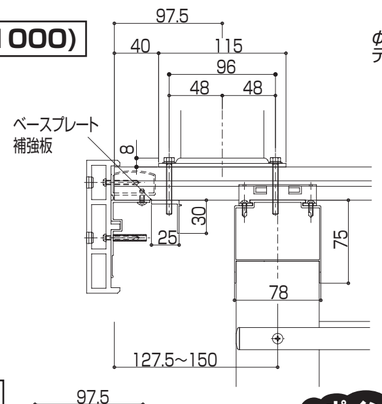
大引き上面に皿穴加工をしてから、柱固定用裏板を大引きに取付けてください。

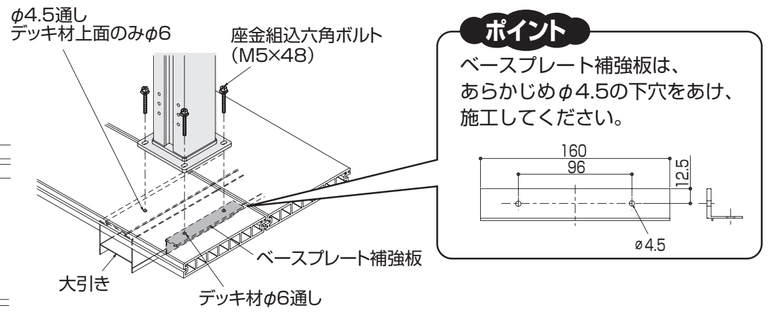


4. 柱の固定 変更

正面側 **片側に大引きがある場合(H=800、1000)**

❶柱の取付穴加工位置を決めてください。
❷大引き側は、大引き上面ごと**φ4.5**で通し加工をして、デッキ材上面のみ再度、**φ6**で穴あけしてください。
❸ベースプレート補強板側は、デッキ材のみ、**φ6**で通し加工をしてください。
❹柱を固定してください。

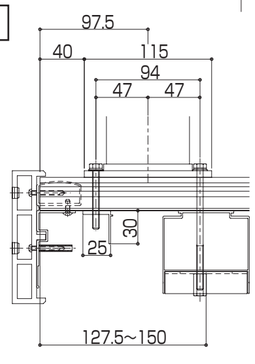




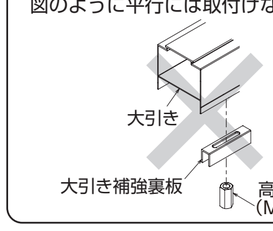
ポイント
ベースプレート補強板は、あらかじめφ4.5の下穴をあけ、施工してください。

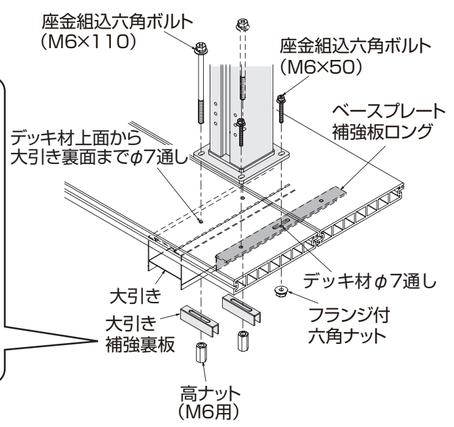
正面側 **片側に大引きがある場合(H=1200)**

❶柱の取付穴加工位置を決めてください。
❷大引き側は、**φ7**でデッキ材上面から大引き裏面まで通し加工をしてください。
❸ベースプレート補強板ロング側は、デッキ材のみ、**φ7**で通し加工をしてください。
❹柱を固定してください。



ポイント
大引き補強裏板は必ず、大引きの長手方向に直交する向きで取付けてください。
図のように平行には取付けないでください。

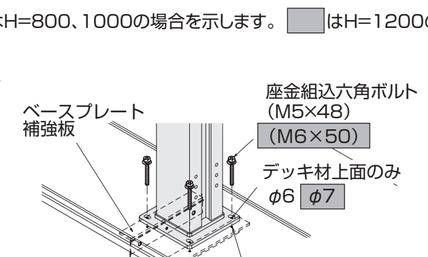




4. 柱の固定（つづき）

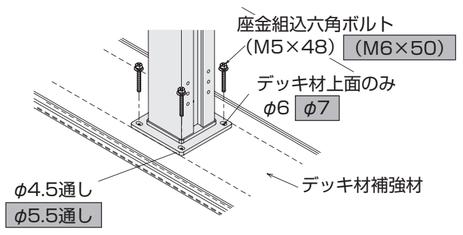
側面側 **大引きの真上の場合** 図はH=800、1000の場合を示します。 はH=1200の場合です。

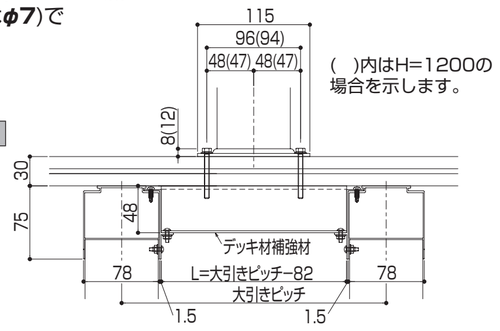
❶柱の取付穴加工位置を決めてください。
❷ベースプレート補強板ごと**φ4.5**（H=1200の場合は**φ5.5**）通し加工をしてください。
❸デッキ材上面のみ再度、**φ6**（H=1200の場合は**φ7**）で穴あけしてください。
❹柱を固定してください。



側面側 **大引きと大引きの間の場合** 図はH=800、1000の場合を示します。 はH=1200の場合です。

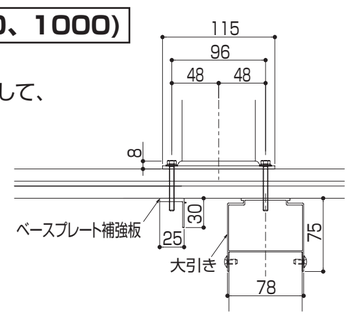
❶柱の取付穴加工位置を決めてください。
❷デッキ材補強材ごと**φ4.5**（H=1200の場合は**φ5.5**）通し加工をしてください。
❸デッキ材上面のみ再度、**φ6**（H=1200の場合は**φ7**）で穴あけしてください。
❹柱を固定してください。

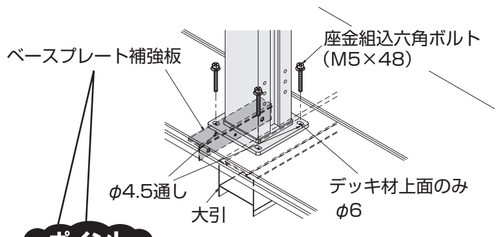




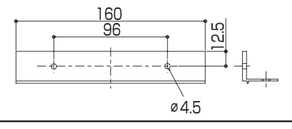
側面側 **片側に大引きがある場合(H=800、1000)**

❶柱の取付穴加工位置を決めてください。
❷大引き側は、デッキ材と大引きに**φ4.5**通し加工をして、デッキ材上面のみ再度、**φ6**で穴あけしてください。
❸ベースプレート補強板側は、デッキ材には**φ6**、ベースプレート補強板には**φ4.5**で穴あけしてください。
❹柱を固定してください。



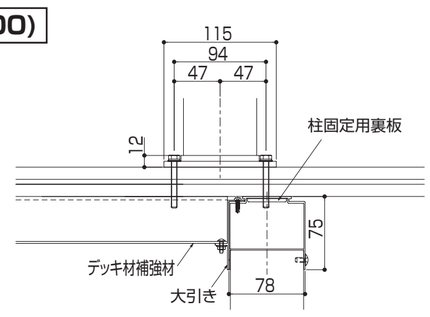


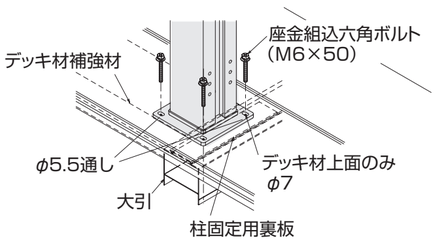
ポイント
ベースプレート補強板は、あらかじめφ4.5の下穴をあけ、施工してください。



側面側 **片側に大引きがある場合(H=1200)**

❶柱の取付穴加工位置を決めてください。
❷デッキ材補強材、柱固定用裏板ごと**φ5.5**通し加工してください。
❸デッキ材上面のみ再度、**φ7**で穴あけしてください。
❹柱を固定してください。



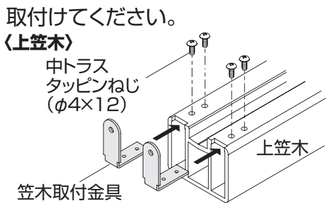


5. フェンス本体の取付

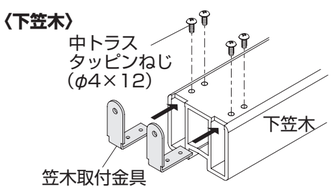
1 笠木取付金具の取付

上下の笠木に笠木取付金具を取付けてください。

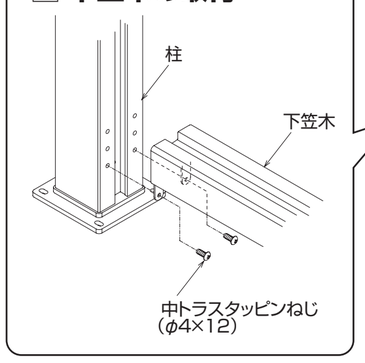
〈上笠木〉

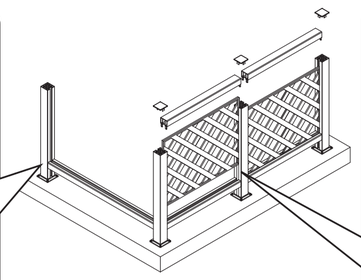


〈下笠木〉



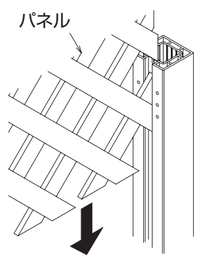
2 下笠木の取付



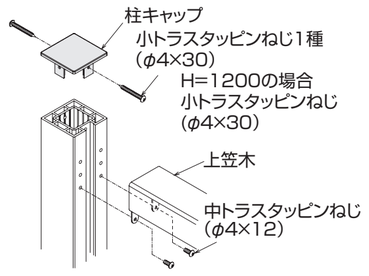


3 パネルの挿入

柱と下笠木を組立てた三方フレームに、パネルを柱の溝の上から挿入し、下笠木の溝まで挿入してください。

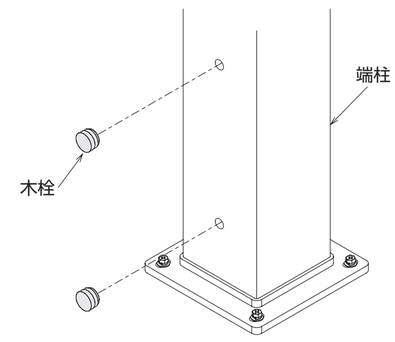


4 上笠木・柱キャップの取付

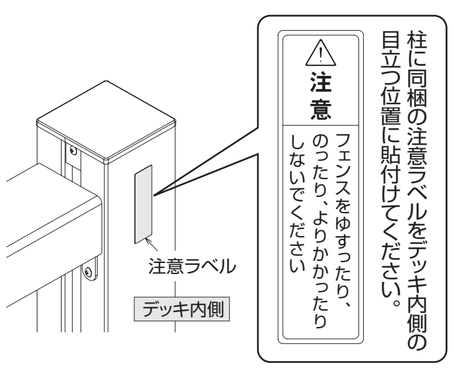


6. 木栓（ねじ穴隠し用）の取付 変更

端柱の柱下部にはベースプレートなどを取付けるための穴があいていますので、端柱に同梱の木栓を挿入してください。
強く入れすぎると、柱内に落ちてしまいますので、柱表面と木栓が同面になるように取付けてください。



7. 注意ラベルの貼付（端柱のみ）



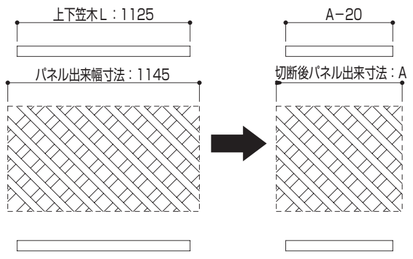
柱に同梱の注意ラベルをデッキ内側の目立つ位置に貼付けてください。

⚠注意
フェンスをゆすったり、のったり、よりかかったりしないでください

切詰方法・本体分割方法

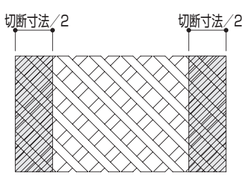
1 笠木とパネルの切断寸法

フェンスを切詰める場合、下図の寸法を参考に切断してください。



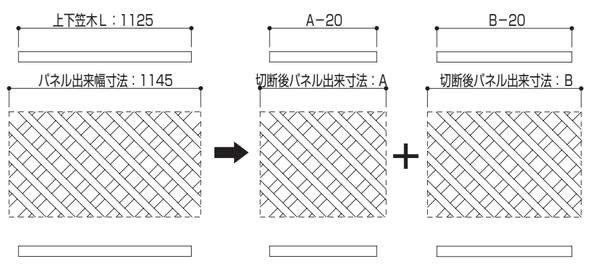
左右対称納まりにする場合

切断寸法を**左右2等分**してフェンス本体を切断してください。



パネルを分割して利用する場合

[例]
ノコ歯5mmとして同寸法の2枚のパネルを作成する。
A=B　　2A+5mm=1145mm
A=570（パネル出来寸法）
570−20=550（上・下笠木寸法）
550+75=625（柱芯々寸法）

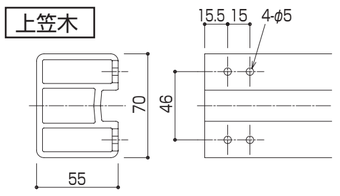


2 上・下笠木の切詰め

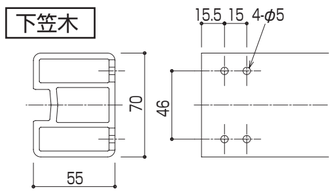
❶切断
切断したい寸法を、片側から切断してください。

❷穴加工
下図を参考に上・下笠木に穴加工を施してください。

上笠木



下笠木

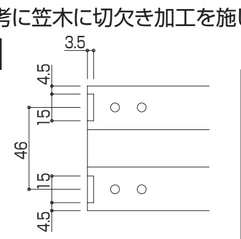


チェック❷

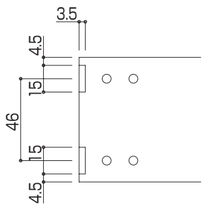
お願い
下笠木の切詰めにより、水抜き穴が失われた場合は、水抜き穴（φ8）を加工してください。

❸切欠き加工
下図を参考に笠木に切欠き加工を施してください。

上笠木

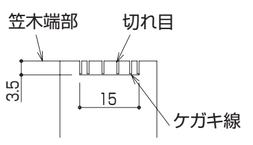


下笠木

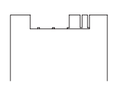


笠木の切欠き方法

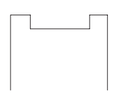
(1) 切断した笠木端部に幅3.5mmのケガキ線を入れ、金のこで数箇所切れ目を入れてください。



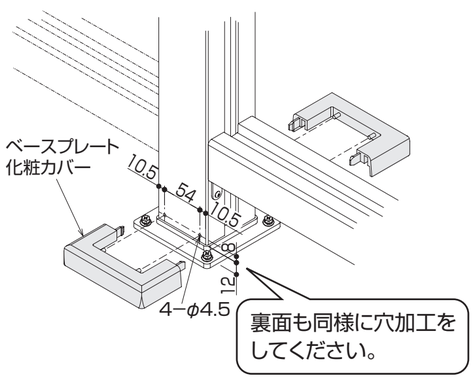
(2) 切れ目を入れた箇所をペンチでつまみ、折り取ってください。



(3) 折り取った箇所をヤスリで仕上てください。



ベースプレート化粧カバーの取付（オプション）

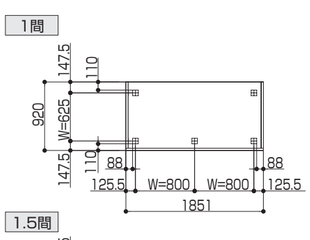


組合わせ例と下地構造 変更

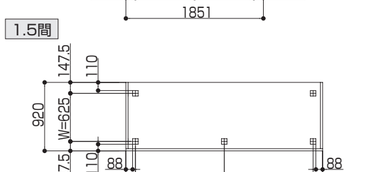
下図を参考に最適な納まりを選んでください。

間口の展開（例：出幅3尺）

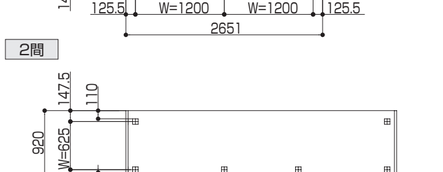
1間



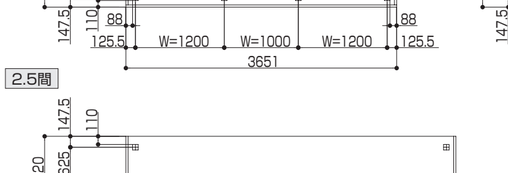
1.5間



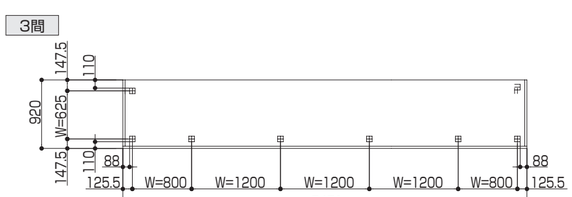
2間



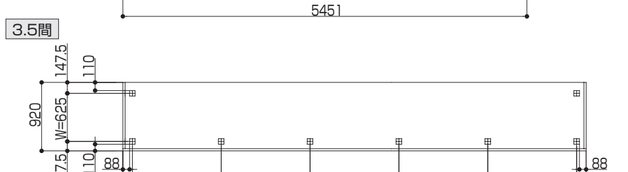
2.5間



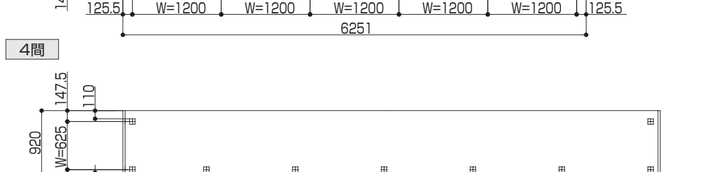
3間



3.5間

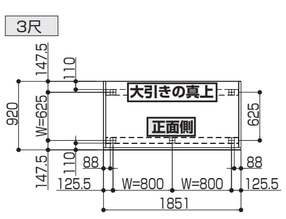


4間

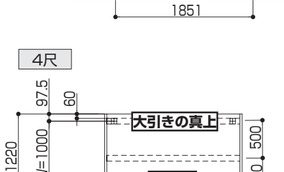


出幅の展開（例：間口1間）

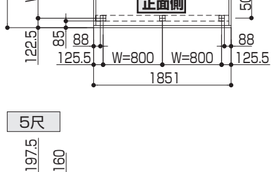
3尺



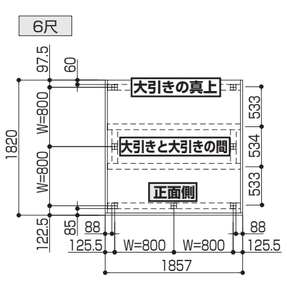
4尺



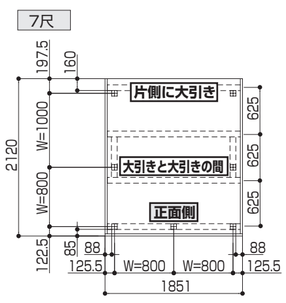
5尺



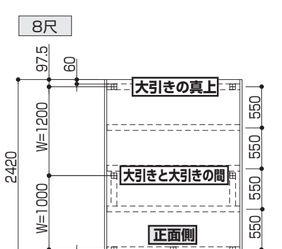
6尺



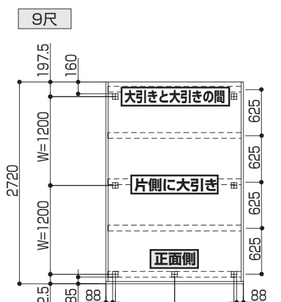
7尺



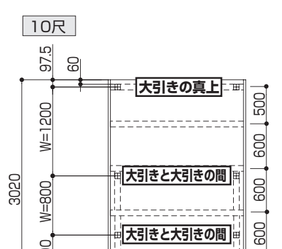
8尺



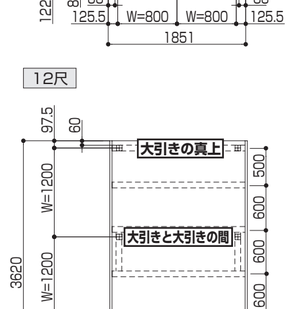
9尺



10尺



12尺



YKK AP株式会社　YKK APエクステリア株式会社

Printed in Japan

No. XAAAX-K03-576B7 Y